
新人冒険家は
触手のママ
愛され苗床になる話

最初は軽いノリだったのに――

そして、この





童貞卒業どころか
俺の処女？奪われて

オレは――
ヘルバのメス…♡

気持ち良い
気持ちいッ♡

マシュー♡

ピクーン

ハァ…

ピクーン

ハァ…

今、俺は――


はい♡
一杯食べて
ドラゴンはまた
狩ってくるから
待っててね♡
ピクン
ピクン
テメェ…俺の服
返せよ…ッ！
フッ…
フッ…
ビクン
ビクン
ビクン
ビクン
もう着てるよ？
僕が仕立て直したの
気に入った？
裁縫も得意なんだ♡
はぁ?!
しゅるる。
それより
食欲無いの？
甘い物が良い？


体調悪いの？
ヒッ！
ビクン
…ッ！
サッ
…あ
ふふ…
可愛い♡
さ…触るなッ！
ほら暴れないで
気持ち良くしてあげる♡
やめろッ！


離せッ！
気持ち悪いんだよ！
ぷくっ
やめろッ！
フフ…
はいはい♡
…！
ビンッ
ビンッ
ビンッ
トロッ♥
な…んだ？
コレ……
…母乳…


て…てめぇ！
俺の身体に何した！
何…って
ウブだね…
あんなに子作り
したのに♡
マシューの中で
僕達の赤ちゃん
元気に育ってるよ
トクン——は？
バ…バカにして
んのか!?
俺は男だッ！
マシューは本当に
何にも知らないんだね
ペロ。


魔族に番の性別は関係ないんだ
マシューの中には擬子宮と赤ちゃんが宿ってる…今から魔力を注いで赤ちゃんを育てるんだよ
トクン…
魔力…？
精子だよ
これから毎日えっちしようね♡
あッ…
くちゅっ
やめろ…
ヤダッ…


や…めろッ！
ハア…
くにゅくにゅ
コリコリ
…
ん。
ダメだよマシュー
…ッ?!
ぐいっ
?!
ジュルルッ。。
今は乳首に集中して…♡
んおッ
ハアッ…
きゅっ
疑子宮も育ってるね
ガク
もうママの準備していかないと…ね？
スル。。


ねぇ…マシュー
ハァ…
ハァ…
ビクン
ビクン
ハァ…
ビクンッ
う…るせぇ…この…変態が…
今から
クリ
僕達の方法も覚えて――
は…？
マシュー…来て――
コレ…
ヤバい…！


やめろッ！
フフ…
くちゅ
くちゅ
くちゅ


出せッ！
怖がらせちゃったかな？
な…な…何すんだッ！
大丈夫だよ
マシューが欲しいもの今から一杯あげるからね♡
…っざけんな！そんなモンいらねぇ！
ヌチュ。
ブルンッ
ッ…♡


マシューの良いトコ…
ぐぷ。
ぬぐぐ。
ちょっと斜めの——
あッ
ピクン
あッ…
ここだろ？
ゴリ。
ビク
ビク
ビク
ビン
ビン
ビン
ビン
きゅん
きゅん
ぐぽッ
ぐぽッ
ぐぽっ
おぉ♡ぉッ
んほッ♡
ビュ
…ッ♡
マシュー…♡


気持ち良いね…
マシューのこと全部わかるよ…
じゃあココにしようか――
きゅんっ
きゅんっ
プシュッ
ピュッ
プシュッ
ジュポッ
グポッ
グポッ
ン…ッ
しめつけ凄いね
ンッ
ギッ…
ンッ
ギッ
力抜いて――


にゅる…
にゅる。
ビュルルル
やあッ♡
お♡
お♡ッ
お♡ッ
ビクン
ぐっ
ぐっ
ビクン
ビクン
ビクン


ズルッ
ぐぢゅっ
トロ
ビクンッ
ビュッ
ゴポ
ビクンッ
永遠に僕の中にいれておきたいよ…
ニュルル…
食材とってくるね
にゅぶ


直ぐ戻るから…
ビクン
ビクン
ビクン
良い子で待っててね♡
コポッ
コポッ
ビク
ぐっ
ビク
ぐっ
ぐっ
ぐっ
ぐっ
…ン♡
ンッ♡


あの野郎…
また変なモン
付けやがって…
ぐにゅ
…ッ♡
ケツが…
くちゅ
ぬちゃ
コリッ
ビクン


ビュルルルッ!!
おっおっ♡
ガク
ガク
ガク
ガク
ビクン
ビクン
このままじゃ本当に産んじまう…
早く…
ハァ…
ハァ…
街まで逃げねぇと…
…!

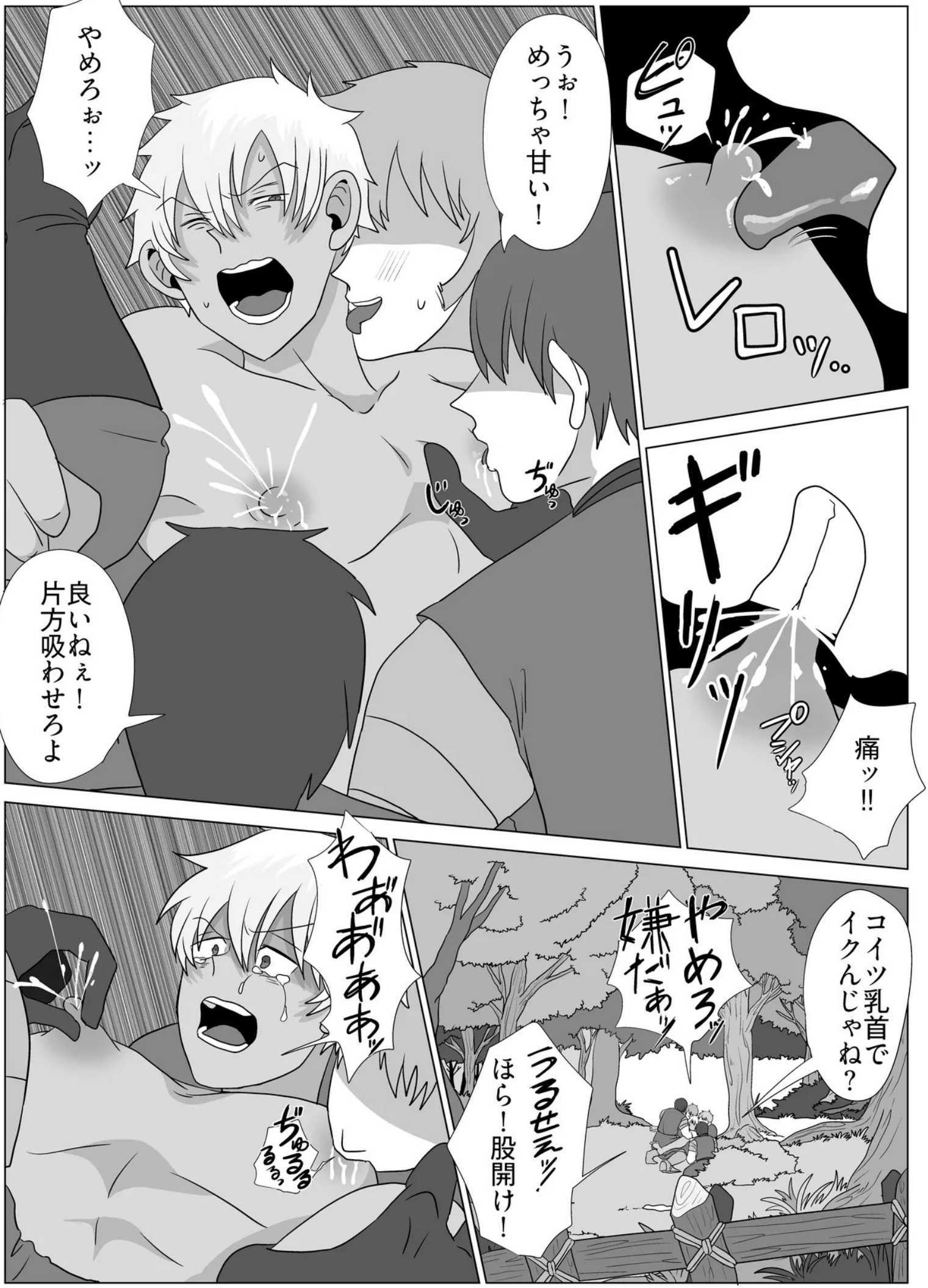

この辺のモンスターはヘルバの匂いがしたら襲って来ない…
はぁ…
ふぐ♥
はぁ…
きゅん
きゅん
境界まで行けば警備隊が居る…
そこまで逃げれば――
ビクン
はぁ、
はぁ、
ビクン


ンッ…♡
じわっ
ドクン…
ドクン…
ドクン…
ンッ♡
ピク…
ムク…
ビクッ!!
ビュルルルッ!!
ぐっ
ぐっ
ビュルルッ
ドプッ…
ビュルルッ
ドプッ…
何だ…?
コレッ?!?
!
人だッ!
これで助かる…
た…
助けてッ!


…ッ?!
に…人間…か?
魔族の領地から来たぞ…
ハァ…
助け…ッて…街に…戻りたいんだ…
ハァ?
…?
お前…
ボソ…


魔族とデキてんだろ？
ドクン。。
モンスターが寄って来ねぇのは魔族の子を孕んでるからだろ？
…ッ
いや、そんな…
ドクン。。
ジリッ…
どうした？来いよ
へへ…ッ
魔族にしこたま可愛がられたんだな
ち…違う…
や…ッ！やめろ！
グイッ
乳首ビンビンにして期待してんだろ？
俺等が日夜警備してんのに勝手に入り込んで魔族と子作りかよ！
エグいほど仕込まれて娼婦よりエロいかもなぁ…？


見てみろよ
このエロ乳首
母乳まで
出してやがる
やめろッ！
街で売る前に
俺等でどれくらいの
名器か使ってみようぜ
ギルドカードじゃん
コイツ新人だな
…ハハッ
身体は魔族に
抱かれる玄人なのに？
またまた…
交尾大好きだろ？
楽しもうぜ
マシュー君？


ピュッ
レロ〜ん
うぉ！
めっちゃ甘い！
やめろぉ…ッ
ぢゅっ
じゅっ
ギ
ッ
プシャッ
痛ッ!!
良いねぇ！
片方吸わせろよ
コイツ乳首で
イクんじゃね？
やめろッ
嫌だぁッ
うるせえッ！
ほら！股開け！
わおおおおッ
ぢゅるるる


何だコレ？
ぷにぷに
魔族の幼体か？
や…
ビクンッ
おお♥
ビュッ
ビュッ
ガク
ガク
ガク
ガク
うぉ！
スゲぇ雌イキ！
何だ？交尾中かよ！
見せつけやがって
ハァ
ハァ
ごく。
中はうねって
最高なんじゃね？
じゃあ
早速……


…
ドサッ
魔族?!
何でここまで!?


お…お前…
こっちは人族の領地だぞ？
ミシッ
条約を破る気か?!
…
場合によれば
戦争になるぞ…
お、おい!!
聞いてるのか!?
お…おい！
やめろッ！


ワオ～ン
…！
ニュルッ…
…
ヒィッ！
逃げろ！
マシュー…
何で家から出たの？
何で待っててくれなかったの？


…！
前にも言ったけど
僕は人族とか条約とか興味ないんだ
戦争も…ね
用が無いから放ってるだけ…
邪魔になれば街の1つぐらい…
消してきてあげるよ？


や…や…めろ
ガク
ガク
ガク
何で？
さっきも
止めたよね…？
あたりま…
――グッ！
…
もしかして
僕以外に――？
ニュルルッ
もうどこにも
行かないで
ンッ！
ン――ッ
ドク
そんなの…
絶対に駄目


パキッ
コ…コレ何だよ?!
何か言えよッ!
…
ひぐっ…
う…ッ
ドクン
ドクン
ジワッ
う…ぁ
やッ…!
嫌だッ!
ドクン
ガッ
ドクン
ガッ
ガッ


ドクン
ドクン
ンッ♡
…あ
あ？
ムク
ムク
ビンッ
ビンッ
あッ
おっおっ
ドサッ
何だ…コレ…
おッ
んおほっ
ぶるんっ
ぶるんっ
プシャッ
おッ♡
頭おかしくな…りゅ…♡
おっおっ♡
んほッ♡


身体…熱い…
ドクン
頭まわらねぇ…
ビクン
ドクン
ビクン
ビクン
ビクン
ビクン
ドクン
俺が俺で無くなりそう
ドクン
このままじゃ――
ビクンッ
ダメ…だ
…ッ
マシュー…？
ギリ…
マシュー…噛まないで
…ッ！
ねぇ？…お願い…


…ッ
ビクン
ビクン
ビクン
脈と呼吸が速くて浅い…
恐怖と快楽で混乱してる…
…ごめんね
マシューのこと傷付けたい訳じゃないんだ…
マシューの事全部はわからないけど——大切にしたい…
ジワ
好きだよ
——それに

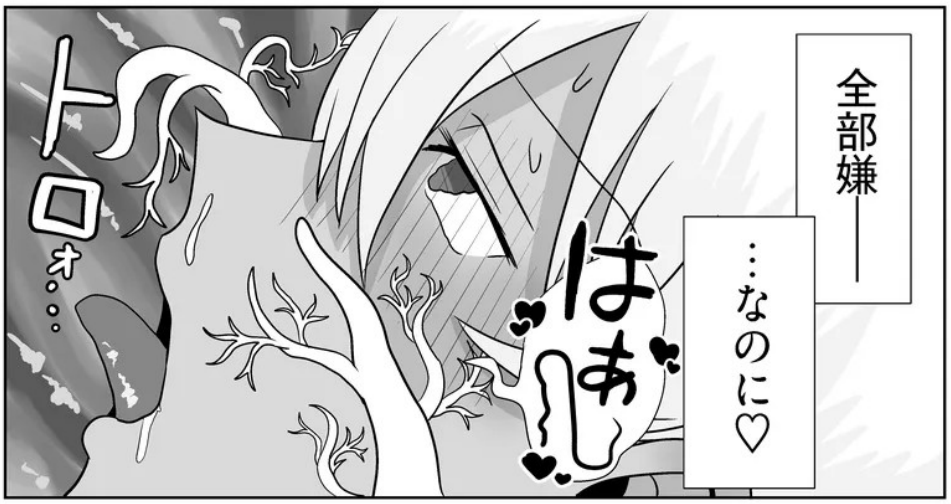

もう人族の生活に戻れないのは――
わかったよね…？
これからはずっと僕と一緒だから
――これで少し落ち着くよ…
ちゅっ
くちゅ
ちゅくっ
にゅぷっ
帰ろ…僕達の家に――


屈辱的だ――

毎日身体を
まさぐられるのも――
ビクッ
ビクンッ
ぽッ
ぽッ

それに反応しちまう
身体も……
おッ
ほっ

コイツみたいな化物が
俺の中で育ってるのも…
ビルルルッ


全部嫌――
…なのに♡
はぁ
トロォ…


ただいま
ギィィ…
ちゃんと待っててくれたね
あ…
嬉しいよ…
う…
スリ…


いい子…
ん…ッ
あッ…
ペロ
ペロ
ペロ


マシュー…
ん…
ちゅ
ちゅっ
ちゅっ
ちゅっ
あッ…
受け止めて…
ンくッ！
ぢゅるる
ぐぽッ
じゅぽッ
じゅぽッ
ぐぽっ
ッ…！
ヘコ
ヘコ
ヘコ
ヘコ
ドクンッ。
ドクンッ。
あぅッ…
マシュー…
あぅッ♡
ビュルルルッ
んッ♡
んぁッ♡
ビクッ
ビクビクッ
マシュー…
う～ッ♡


あ…うッ♡
マシュー…
自由に動いて良いよ
んッ♡
コリコリ
コリコリ
ゴリッ♡
ハッ
ハァッ♡
ピュッ
ピュッ
タンッ
あッ♡
タンッ
んあッ♡
タンッ
…ねぇ
マシュー…
う～ッ♡
僕の名前
呼べる…？
ビクンッ
…マシュー…
あッ
あぇッ
んほぉ


マシュー…
マシュー…
ン…
ドクン。
ドクンッ。
ドクンッ…
起こしてゴメンね？
いい子にしてたね♡
おいで
スルッ。
ナデナデ。


マシュー…
そろそろ産まれるよ
もう少しでママになるんだ
あ…
大丈夫…
痛くないように気持ち良くしてあげるからね…
スリ。
…うヅ?!
ドクン


おッおッ
マシュー…口開けて
ラッラぐっ
じゅぽっ
いい子
ボゴ
ボゴッ
ちゅ
ちゅ
ちゅ
鼻からゆっくり呼吸して——
そう…上手だね…
ニュルルル…
直ぐに気持ち良くなるからね——


？
ちゅぽん
？
あッ♡
ビンッ
ビンッ
あッ♡
んぎッ!?
ボコ
ボコッ
あ…？
あッ♡
あぅぅぅッ♡
ハァッ
ハァッ
ビクン
ビクン

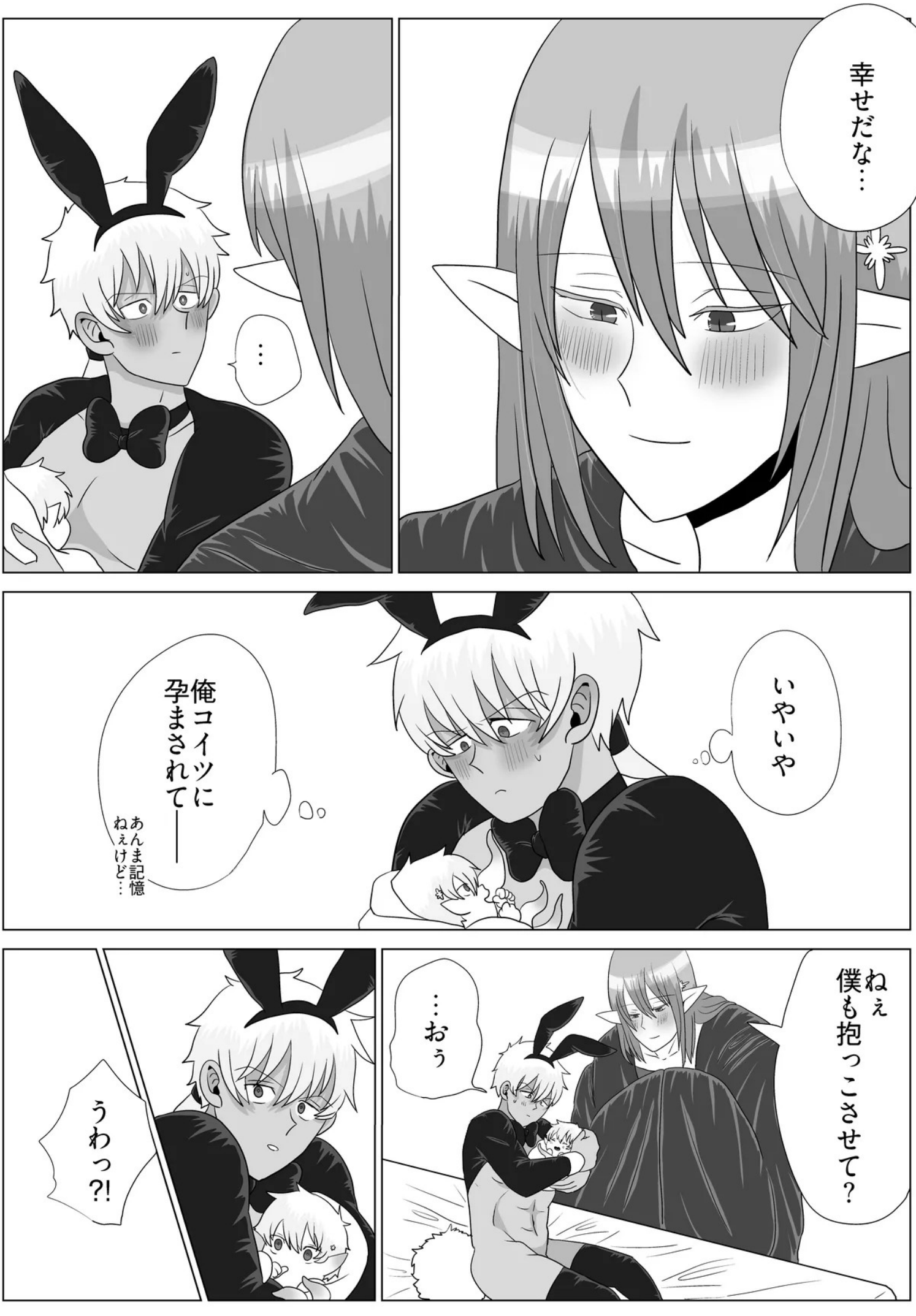

マシュー！…
頑張って…
にゅぷ。
おお♡
ボビュッ
ビュッ
ビュッ
ビュッ
ビュッビュッ
ブッ♡
ブルルッ


ブリュッ
ブリュッ
ボビュルルッ
おぉ♡おぉ♡


有難うマシュー
ふえッ…
ふえええええんッ!
ヒク
ヒク
赤ちゃん元気だよ
ハァ…
ハァ
今はゆっくり休んで――


ちゅっ
ちゅっ
ちゅっ
ちゅっ
じー。
ちらっ
…
ピク。
んッ
ピクンッ
んっ
ピクンッ
ちゅっ
ちゅっ
ちゅっ
スッ
ナッ


ジロジロ見んな…！
！
マシュー…！
…？
な…何だよお前の事は許さねぇからな！
嬉しい…
はあ?!
…
ちゅっ
ちゅっ
…髪と目の色
…？マシューと一緒で本当に愛おしいよ


幸せだな…
…
いやいや
俺コイツに孕まされて――
あんま記憶ねぇけど…
ねぇ僕も抱っこさせて？
…おう
うわっ?!


これから幸せになろうね…
…ッ
アァッ…
END

登場人物



マシュー（受け）
新人冒険家。モテたいと言う理由で高難易度のクエストを受けたりノリだけで生きていたが、子供の顔を見て心情が変わった様子。
ヘルバの顔は好みらしい。



ヘルバ（攻め）
植物に近い魔族。体液は不老不死や媚薬としての効果がある。
家事も戦闘もお手の物のスパダリだが、嫉妬深くマシューの為なら他はどうなっても良いと考えている。



子供
妊娠中のマシューが射精出来なかったのは胎児へ送られていた為。宿木で感度の上がっていたマシューの精液で人族の血も入っている。魔族として成長はやや遅め。

魔族図鑑

No.002
―ヘルバ―
アラウネの生態(1/2)



【生態】
体液には細胞の活性化や再生を促進する効果がある。100年前の人族との戦争で蘇生薬の材料として乱獲された。
現在も一部の富裕層が不老不死や媚薬として探し求める一品。しかし、現在生存している個体は、戦禍を生き延びた戦闘力の高い者のみで手に入れるのは至難の業。



魔族全体を通して種族、性別問わずに妊娠させ繁殖できる。
魔族の胎児は母体からの栄養ではなく、魔力（精子）で育つ。強い個体を育てる為、一夫一妻性で生涯を通して番となった個体にのみ効率よく魔力を注ぐ。

魔族ではあるが、魔法は一切使えない。
繁殖時は体液の効能で母体の苦痛を和らげる。

魔族図鑑

No.002
―ヘルバ―
アラウネの生態(2/2)



○半摂食交接
受胎した母体と胎児を安全に育てる為に
体内に取り込んで交接を行う。
完全摂食交接とは違い、母体の世話の為に
狩りなど離れる期間がある。



○膣栓
他の魔族同様、擬子宮の形成、精子の移送と
漏出防止効果がある。
特殊な進化をしており、蓄精房と呼ばれる袋
があり、離れている期間も時間経過や刺激で
母体に精子を注ぐ。胎児の効率的な育成と、
他の個体と交尾させない目的がある。



○宿木
母体に植付け交接を円滑に進める。
母体のストレスを抑える為に強い催淫効果の
ある分泌物を皮膚から送り込む。役目を果た
した後は消滅するが、母体のホルモンバラン
スが変わり、主に対して愛着を持ちやすくなる。

おまけ

❶表紙
❷新しい家族

※以下、差分のカラーイラストになります※







次回予告



子供の時に拾われて農夫として
魔族の側で働く青年

最初は兄や父のように慕っていたが
精通を迎え今までに無い感覚を覚えてしまい――

農夫を大切にしたい魔族

魔族の子を孕みたい農夫――

ミノタウロス×農夫の青年

発売予定
2026年春～初夏

あとがき

ここまで読んで頂き有難う御座います。
今回は『魔族に嫁ぐ』シリーズ第二弾の完結でした。個人的にヘルバの生態はかなり気に入っており、漫画では触れきれませんでしたが、背側触手と腹側触手の設定、幼体の成長過程なども考えておりました。現在、少しずつですがCi-enでの活動も初めているので、将来的には魔族達の詳細設定、後日談や、過去の話なども紹介できたらと考えています。宜しければ、Ci-enにも遊びに来てください。

次回作も現在、作成中です。
フォローして頂けると励みになりますので、宜しくお願い致します。
長くなりましたが、ここまで読んで頂き本当に有難う御座いました！
また次回会えるのを楽しみにしています。

和草デザイン